

情報誌 スマイル

2022年 春号



社会福祉法人大和善隣館
幼保連携型認定こども園
蓮代寺こども園

小松市蓮代寺町 に 173
TEL 46-6997

http://www.rendaiji-kodomoen.com



あじさいのつぼみも膨らみ始め、梅雨の気配を感じる頃となりました。地域の皆様には日頃より、蓮代寺こども園の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

新年度の生活も落ち着き、晴れた日の園庭や近くの農道からは子どもたちの弾む声が響く毎日です。散歩の途中につくしやヨモギを見つけた子どもたちは、嬉しそうに持ち帰り、「これおいしいものを作ってください」と給食の先生と交わしていました。園庭の小さな畑では、これから夏野菜の栽培が始まります。どんな野菜がいいかと、子どもたちなりに知っていることやお家の方に教えてもらったことを伝え合いながら思索していました。これまでの園生活で、収穫した野菜をおいしく調理してもらった経験を重ねてきた子どもたちは、楽しみで仕方のない様子です。また、例年向本折町の畑をお借りしてジャガイモや大根の栽培をしていますが、お世話を下さる農家の方の野菜が、道の駅に売られているのを見つけて、身近に感じることができます。小松市で採れた野菜や生産者の方を知っている野菜に触れること、また、自分たちで育てた野菜を食べることは、まさに地産地消です。もちろん給食の食材も地産地消を心掛け、毎月19日の食育の日には、その日の献立に使われた食材とその産地を示して展示し、子どもたちに知らせています。大和善隣館では令和3年度SDGs宣言をし、6つの目標を掲げています。その一つ、目標12「つくる責任つかう責任」としてこれからもしっかりと取り組んでいきたいと思ひます。また、目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」として、太陽光発電や水力発電100%の電気契約プランへの切り替え、夜間に電力を蓄積するサマースラブ(床暖房)の導入等による節電によりCO₂排出の削減と、目標11「住み続けられるまちづくりを」として、災害に強い構造の園舎、火災や地震などの災害を想定した避難訓練等による防災教育の実施、蓮代寺町町内会と災害時の協力体制の協定を結ぶなど、安心・安全・快適な生活環境を整えることを目指しています。

コロナ禍においては、子どもたちの健康と生活を守るため、様々な感染予防対策に取り組んでいます。生活の仕方や園行事等を見直し、コロナ禍での活動のあり方を模索しながらの毎日です。地域の皆様とのふれあいの機会となる「ふれあい食堂」や「きらきらぼし」もお休みをいただいているのが現状です。県内の感染状況は、高止まりのままで、まだまだ警戒が必要ですが、感染拡大が収まりました折には、地域の皆様とのふれあい活動を再開し、地域に開かれた身近な教育・保育施設として多くの方に利用していただき、保護者の皆様、地域の皆様と共に子どもたちの成長を見守っていききたいと思ひます。地域の皆様におかれましても、ご家族皆様が健康でありますよう、くれぐれもお気をつけてお過ごしください。

— 園長 —

社会福祉法人大和善隣館は SDGs宣言します



1. 園児への教育や保護者への子育て支援並びに児童の健全育成と保護者支援に取り組んでいます。
2. 女性が活躍するための教育や人材育成の機会を提供し女性のエンパワーメントを推進します。
3. 太陽光発電活用等を通じてCO₂排出の削減に努めます。
4. 仕事と家庭の両立、および意欲的、継続的に働くことのできる職場環境の実現を推進します。
5. 安全で快適な施設整備、防災教育、地域連携等により園児・児童の安全の確保を推進します。
6. ICTを活用したペーパーレス化及び食品ロスの削減を推進します。

蓮代寺こども園の教育・保育方針 【三つのゼン】安全・自然・積善

安全 ◎安全への心くばりを…すべての子どもが「安全」に過ごせる心くばりを行ないます。
・子どもたちが、健康・安全で情緒の安定した生活ができるよう努めます。
・生活や遊びの中で、子どもたちに自らの身を守る安全意識を培います。

自然 ◎自然に学ぶところを…すべての子どもに「自然」の大切さを気づかせていきます。
・子どもたちに本物の自然にできるだけ触れさせ、深い感動と豊かな感性を育みます。
・子ども一人一人の個性も「自然」として捉え、自分らしく主体的・意欲的に活動できるように支えます。

積善 ◎積善への意欲づけを…すべての子どもの「積善」への努力を認めていきます。
・のびのびとした園生活の中で、善悪の判断やきまりを守る大切さなど道徳性の芽生えを育みます。
・善き行いを積み重ねる努力を認め、心の育ちを支えます。

安全とは・・・

乳幼児期には、周囲の大人や友だちからかけがえのない存在として受け止められ、認められているという安心感が積み重なることで信頼関係が育まれます。そして、次第に自己を発揮し、“自分は自分のままでいいんだ”という自己肯定感が育まれます。それが自信へと繋がり心の土台ができていきます。

このような心の土台のもと、主体的に環境に関わり、様々な活動を展開しつつ自分の身を守る安全意識も身につけていきます。

また、様々な食育活動を通して、自分たちで育てた安心・安全な野菜を余すことなく食べることで、食べ物を無駄にしないことや食べ物と体のかかわり、命をいただくということなどをSDGsと共に考えていきたいと思ひます。そして、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ち、命を大切にすることを育んでいきます。

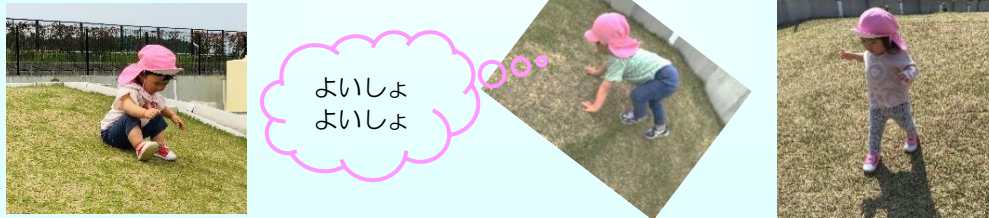


持てる力を発揮して～1歳児の姿より～

歩行が安定してきた1歳児は、園庭に出ると思い思いの方向へと歩き出し、歩く楽しさを存分に味わっています。また、築山を駆け上がっていく年上児に続こうと四つ這いで一歩ずつ進んでいく子もいます。立ったまま登ってみるもののバランスを崩して尻もちをつき、それでもまた立ち上がり登ろうとする子もいます。

築山での登り降りは、単にそれを繰り返しているだけではありません。保育者と一緒に体を使った様々な遊びを楽しむ中で、全身の筋力や体幹、平衡感覚が十分に育ってきていることや生活や遊びの中で“自分でやってみよう”という思いを尊重し、丁寧に関わることで生まれる意欲が、主体的に挑戦する姿となって現れます。

また、登りたいがために、踏みしめながら進む子どもたちの後ろには、それを見守る保育者の温かなまなざしがあります。築山の頂上にたどり着いた子どもたちの得意げな顔は、春の日差しに包まれ一段と晴れやかです。



よいしょ
よいしょ

給食で人気のメニューを紹介！

マーボー丼

材料(子ども4人分)

- 絹豆腐 2丁
- 豚挽肉 100g
- ねぎ 1/2本
- しょうが 1片
- ピーマン 2~3個
- 人参 1/4本
- しょうゆ 大さじ2
- 砂糖 大さじ1.5
- 味噌 大さじ1
- 鶏ガラスープの素 小さじ2
- 油 適量
- 片栗粉 大さじ1

作り方

- ① 人参とピーマンは千切り、ねぎは小口切り、しょうがは半分みじん切りにし、あとの半分はすりおろす。
- ② 絹豆腐を食べやすい大きさに切る。
- ③ フライパンに油をひき、みじん切りにしたしょうがを炒め、豚挽肉を加えてよく炒める。人参、ピーマンを入れ火が通ったら水を適量加えて煮る。
- ④ しょうゆ、砂糖、味噌、鶏ガラスープの素で味付けする。
- ⑤ 煮立ったら絹豆腐を入れ、しょうがのすりおろし汁とねぎを入れる。
- ⑥ 水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ⑦ ごはんの上に出来たマーボー豆腐をかける。



おいしいー！

春の自然に十分に触れて遊びました

J A倉庫裏でつくしを発見しました。昨年度の経験から食べられることを知っている子どもたちは、園に持ち帰ると袴を丁寧にとったり、他の草が混ざっていないか、どの部分がおいしいのかと選別したりして急いで給食室に持って行き調理してもらっていました。給食時に佃煮になって出てきたつくしを「おいしい〜！」と大喜びで食べていました。



園庭で突ったいちごにそっと触れる。食べてみて味わう。(五感で感じる)



綿毛、とべとべ ふーっ (植物の特性を理解する)



つくしの長さくらべ (長さへの関心)



葉の裏が白いのがヨモギだよ (植物の特性を理解する)



カードを使ってネーチャーゲーム (五感を働かせて自然物に触れる)



ゴーヤにコーン…種を顕微鏡で観察中 (探求心)



収穫したいちごの数を数えたり、大きさを比べたりする (数や大小への関心)



何かに食べられているよ。鳥かな？網をかけてみようよ (思考力の芽生え・言葉による伝え合い)

子育て支援室きらきらぼし 園庭に遊びにきてね

園庭開放日 6月3日(金) 10:00~10:30
6月8日(水) 10:00~10:30

- ・マイ保育園登録をされた方で園庭開放に参加されたい方は、予定日の2日前までに蓮代寺こども園まで電話連絡をお願いします。
- ・参加者はお子様1名につき大人の方1名とさせていただきます。
- ・雨天は中止となります。また、コロナの状況によっては開催を中止しますのでその点はご了承ください。